



Maxillo-facial Unit

マキシロフェイシャルユニット

あご・かお・くちのチーム医療
《口腔外科・形成外科・矯正歯科》

口と顎・顔のことでお悩みの方

マキシロフェイシャルユニットにご相談ください。

1. 抜歯と薬について

Q: 血栓予防の薬を飲んでいる。

A: 内服薬を継続したまま抜歯が可能です。
減量・休薬の必要はありません。

Q: 骨粗鬆症の薬を飲んでいる。

A: 顎の骨の状態によっては休薬後に抜歯をする場合があります。

2. 親知らずの抜歯について

Q: 入院が必要か？

A: 特別な理由がなければ外来治療です。

3. 顔について

Q: 下あごが出ている。ゆがんでいる。非対称。

A: これらの状態を顎変形症といいます。
健康保険を使って歯科矯正治療と手術で治ります。矯正治療開始から手術まで1年程度、手術時の入院は1週間くらいです。

4. 口の健康について

Q: 口内炎が治らない。舌や歯肉に白や赤い斑がある。

A: 前がん病変(がんになる可能性が高い)や、がんの可能性があります。早い受診を勧めます。

5. あご関節について

Q: あごが痛い。あごの関節の音がする。
口を開けにくい。

A: いずれも顎関節症という状態です。噛む習慣、噛み合わせの高さ、大きく口を開けたなどを契機に発症します。開口障害とならないように治療をします。

6. 噛み合わせや歯並びについて

Q: 子どものあごがゆがんでいる。
前歯が逆にかんでいる。口が閉じにくい。

A: 歯科矯正治療で治る場合が多いです。
ご相談ください。

マキシロフェイシャルユニットとは

マキシロフェイシャルユニット(顎顔面治療部門)は、あご(マキシロ)、かお(フェイス)、口を総合的に治療するところです。口腔外科医、形成外科医、矯正歯科医など、「かお」に関する専門医が医科や歯科の枠組みを超えて「チーム医療」で、また、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、言語聴覚士などが一緒にチームを組んで患者さんをサポートしています。当診療部門は虫歯や入れ歯などの歯科治療は行っていないが、「あご・かお・くち」についての悩みがございましたら、お問い合わせください。

口 腔 外 科



柳澤 繁孝 (やなぎさわ しげたか)

名誉院長
資格：大分大学名誉教授、大分地方裁判所専門委員
日本口腔外科学会専門医・指導医
がん治療暫定教育医(歯科口腔外科)
口蓋裂学会名誉会員、口腔腫瘍学会名誉会員



松本 有史 (まつもと ゆうし)

マキシロフェイシャルユニット部長
資格：日本口腔外科学会専門医・指導医
日本顎顔面インプラント学会指導医
AOCMF JAPAN Delegate



望月 敬太 (もちづき けいた)

口腔外科医員



竹内 正彦 (たけうち まさひこ)

口腔外科医員

形 成 外 科



古川 雅英 (ふるかわ まさひで)

院長 創傷ケアセンター長
資格：日本形成外科学会形成外科専門医
日本形成外科学会皮膚腫瘍外科指導専門医
日本創傷外科学会専門医
日本頭蓋顎顔面外科学会専門医



石原 博史 (いしはら ひろし)

形成外科部長
資格：日本形成外科学会形成外科専門医



佐藤 精一 (さとう せいいち)

副院長 形成外科部長
資格：日本形成外科学会形成外科専門医
日本創傷外科学会専門医

矯 正 歯 科



小椋 幹記 (おぐら みきのり)

矯正歯科部長
資格：日本矯正歯科学会矯正歯科認定医・指導医

診療内容のご案内

顎変形症

上あごと下あごのバランスや左右の対称性が損なわれている状態を顎変形症といいます。受け口、出っ歯、小下顎症、ガミースマイル(笑った時に歯ぐきが見える)などの症状が挙げられます。歯科矯正治療と手術で改善します。

外傷

交通事故やスポーツなどによる負傷、転落や打撲による外傷や骨折の治療を行います。傷あとや変形、噛み合わせの回復・改善を図ります。ラグビーやボクシング、サッカーなどでの歯、あごや鼻の損傷を予防するためのマウスピース、顔面部プロテクターなども作成します。また、顔面腫瘍など、顔のできものが良性か、悪性かを診断した上での治療や、手術後の変形、目立つ「傷あと」「ひきつれ」の治療も行います。

口腔機能の維持 生活の質を維持するために

口は生存とコミュニケーションのためのツールとして進化してきました。いろいろな組織が複雑な機能を果たし、病気などで障害されると多彩な症状があらわれます。

口や顔の腫れ、痛み、しびれ、口が乾く、味がわからない、治らない口内炎や腫瘍、口臭、口を開けにくいなどの症状はありませんか？

三叉神経痛、口腔関連痛、浮腫、唾液分泌障害、味覚障害、粘膜疾患、前がん病変、骨髄炎、膿瘍や顎関節症などの治療が対象です。

口唇・口蓋裂

生まれた時に唇が裂けている状態の先天性疾患です。生後すぐに哺乳補助装置の作成、哺乳指導、手術前の鼻や唇の矯正、形成手術、言語訓練、歯やあごの矯正治療などを適正な時期に実施します。出生後から成人するまで関わります。

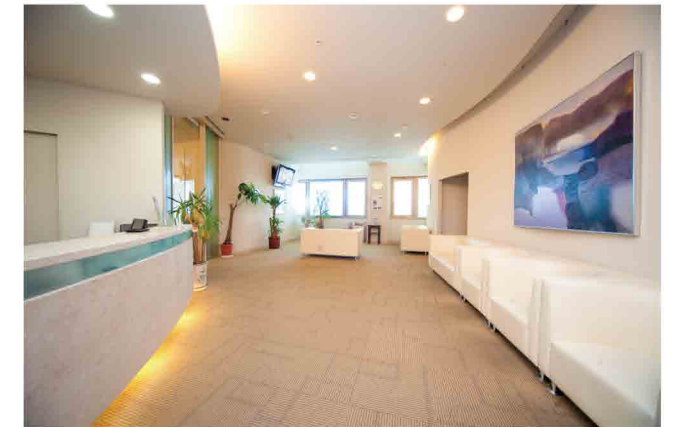
矯正歯科

あご、口元、噛み合わせ、歯並びのゆがみの相談と治療を行います。重歯、乱ぐい歯、前歯が噛み合わない、受け口、出っ歯などのゆがみの原因を成長の過程で取り除き、ゆがみの修正を行います。場合によっては、歯を抜くことや手術が必要なこともあります。必要に応じて複数の専門医(口腔外科や形成外科など)と連携して治療を進めます。

マキシロフェイシャルユニットの診療室は、プライバシーへの配慮、感染予防の観点からすべて個室です。清潔感あふれる空間で、安心して治療をお受けいただけます。



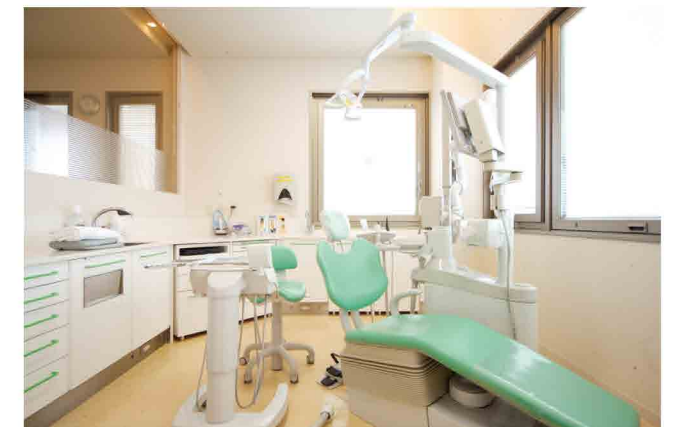
受付



待合室



診察室



診察室

顎変形症

「前歯が出ている」、「うまく噛めない」、「受け口だ」・・・。
気になる口元のコンプレックス、専門医だから治せることがあります。

顎変形症は、上あごと下あごの大きさのバランスや、左右の対称性が損なわれている顎の発育障害です。病状は、下あごが突き出した下顎前突、噛みづらさを感じる咬合不全、上あごの歯肉が上唇より下がっているため、笑うと上の歯ぐきが見えるガミースマイルなどが挙げられます。まずは、顔、あご、歯のレントゲン撮影やCTなどによる検査を通じ、治療方針を決定するために必要な情報を集め、解析します。歯の矯正治療だけでは、解決できない場合、あごの前後、左右、上下のズレなどを

正しい位置まで移動させる外科的手術を行います。（※下あごの成長が終わった15歳頃から手術可能）手術は、すべて口の中のため、皮膚に傷あとなどは残りません。また、全身麻酔で行なうため、手術中に痛みを感じることもありません。全身麻酔については、専門の麻酔医が常勤し、術前術後管理を徹底していますので、安心して手術を受けることができます。手術自体は1時間半ほどですべて終了。翌日から食事を摂ることができます。

治療の流れ



矯正歯科

「笑顔に自信が持てない」「あごの動きや発音の問題」「虫歯になりやすい」
そのままにしておくとうこういった問題が挙がってきます。

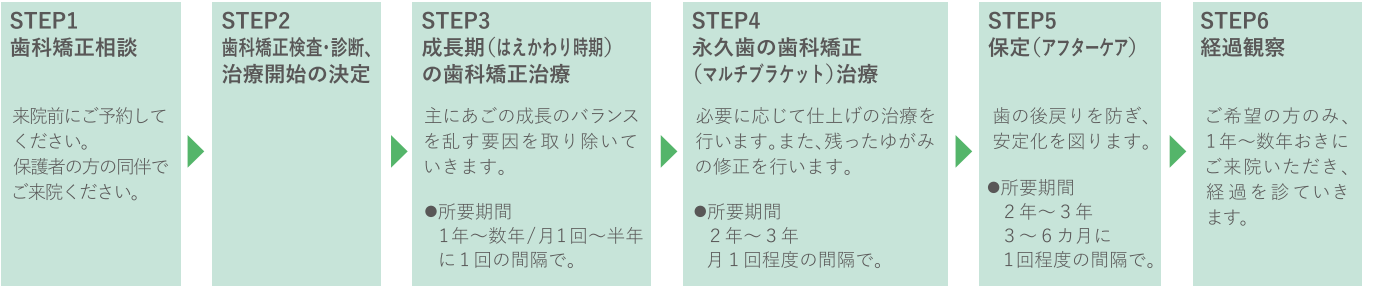
あご・口もと・噛み合わせ・歯並びのゆがみの相談と治療を行います。あご・口もと・噛み合わせ・歯並びのゆがみがあると、一般的に成長に伴ってそれがはっきりわかるようになり、また、程度がひどくなります。成長期のお子さんでは、これらのゆがみの要因を成長の過程で取り除いていきます。成長の落ちついた方では、ゆがみを修正します。このために歯を抜くことが必要な場合があります。また、ゆがみが大きい方では、手術が必要な

場合があります。必要に応じて口腔筋機能療法（噛み方や飲み込み方などのお口のトレーニング）を行います。あごの動きと筋肉の動きを同時に記録できる顎口腔機能検査機器、CT128列などを使用して検査・診断を行います。必要に応じて複数の専門医（口腔外科や形成外科など）と連携して治療を進め、痛みを軽減することに取り組んでいます。子どもからご年配の方まで一度ご相談ください。

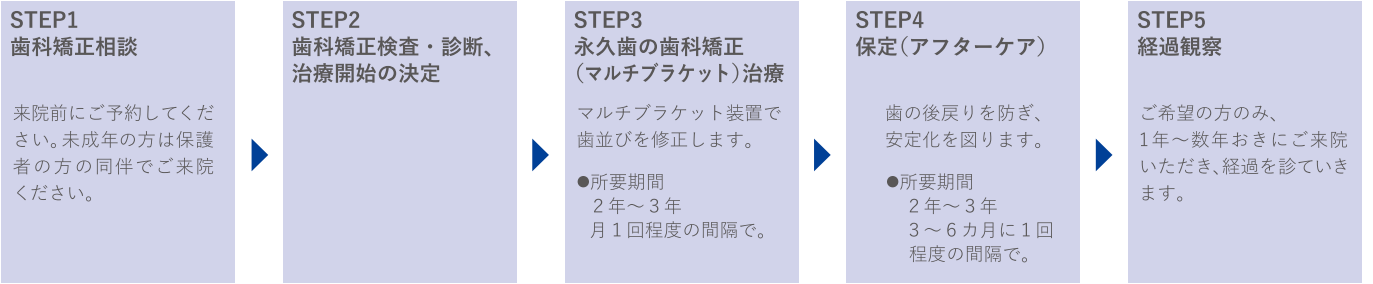


治療の流れ

乳歯と永久歯が混在している成長期のお子さん



全て永久歯に生えかわっている中学生以降のおとな



ご予約・お問い合わせ

大分岡病院 地域・患者総合支援センター

TEL 097-503-5033

■予約受付時間

8:00～17:00（月～金曜日）

8:00～12:00（土曜日）

■診療受付時間 ※矯正歯科は土曜診療を行っています。

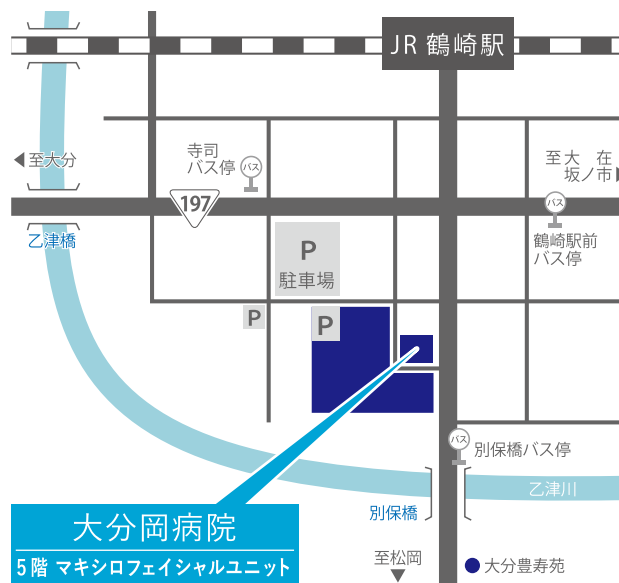
9:00～16:30（月～金曜日）

9:00～16:30（土曜日）矯正歯科のみ



マキシロフェイシャルユニット
ホームページ

アクセスマップ



《交通アクセス》

- ・JR 鶴崎駅より徒歩 5 分
- ・国道 197 号線最寄バス停「鶴崎駅前」または「寺司」より徒歩 5 分



社会医療法人
敬和会

大分岡病院

〒870-0192 大分市西鶴崎 3-7-11

電話番号：097-522-3131(代) / FAX 番号：097-503-6606

ホームページ <https://keiwaikai.oita.jp/oka-hp/>